



がんばれ、ファイト、もう一本！(伊万里市スポーツ少年剣道交流大会、2月9日)

# 伊 不 里

宣言します！  
さわやか市政

広報  
Imari

2003  
(平成15年)

3

今月の主な内容 NO.589

特集 伊万里の観光を考える……………	2
インフォメーション伊万里……………	6
みんなの広場……………	10
くらしのチャンネル……………	12
お便り……………	14



いろえはなかくもんざら  
色絵花籠文皿

伊万里 1690～1740年代  
高さ 6.0 口径 35.4 底径 18.7cm

腰に段をつけた幅広の折縁皿です。見込みには甕に入れられた花文を描き、周縁部は八方に窓をとる芙蓉手ですが、中には菊、かきつばた、南天など3種類の日本的な文様が色絵によって描かれていて、中国の芙蓉手の写しではなく日本的な意匠です。また、それぞれに濃い染付と金で縁取られた菊、束ねた柴などがアクセントとして配されていて、見込みの華やかな花籠文だけでなく周縁部も強い印象を与えています。



# 特集

# 伊万里の

# 観光を考える

## 市民リポーターが行く!



市民リポーター  
川久保 和華さん

山代町在住。昨年11月の『第11回グローバル伊万里海外研修派遣事業』に参加。活力あるまちづくりに貢献したいとがんばっている女性です。

今、多くの自治体は、どうやって自らのまちを活性化させるのかという大きな課題を抱えその解決策を模索しています。現在、伊万里市も商工業や農業、観光、教育文化などあらゆる方向から活性化に向けた取り組みを進めています。

そこで今回は、一般公募で市民リポーターに決定した川久保さんに、まちの活性化という視点から『伊万里の観光について』の現状と課題を探ってもらいました。どんなリポーターになるか楽しみです。それでは川久保さん、よろしくお願ひします。

## 観光地に求められ るものとは何か

私たちの住むこの伊万里市は、歴史と伝統、さらには雄大な自然がうまく融合していて、観光地として見ても十分な要素と魅力を備えていると思います。実際、平成13年中にはおよそ163万人もの観光客がこの伊万里を訪れていました。

ただ、ひとくちに観光といってもその内容はまさに多種多様です。ほかの観光地を見ると、温泉であったり、イベントであったり、レジャー施設が備わっていたりします。しかし、伊万里にはそれらのものはほぼありません。

そもそも「観光」というのは、地域ごとの独自性、つまりほかにはなく、ほかとは異なるものを五感で体感するものだと思います。『見て・触れて・体験して・食べて・感じる』、このことが観光には何より求められるのではないのでしょうか。加えて万人に対して分かりやすいものであるということも観光地には必要不可欠です。その点で言うならば、伊万里では『伊万里焼』が筆頭にあげられますし、その代表格として大川内山があることは周

知の事実でしょう。中国の桂林を思わせる情緒あふれる風景と、伝統の技が生み出す伊万里焼とが融合し、えも言われぬ雰囲気を出しています。そしてそれを味わうために、大川内山には毎日観光客が絶えません。

実際に大川内山に来ていた人に話を聞くと「伊万里に来たのは初めてだったが、この雰囲気はすばらしく、焼き物それ自体にもさまざまな形や模様があり見るだけでも十分に楽しめた」という感想を持った人ばかりでした。ただ、バスツアーということではやはり時間的に余裕のある40代から60代の人が多く、若い世代の人はほとんどいませんでした。焼き物というと、若い世代にとってはあまり興味を持ちにくいということもあるのかもしれません。



大川内山で観光客の人に直接インタビューをしてみました。この日は愛知県や東京方面からの団体客が訪れていました。



## 『通過型観光地』 という現実

大川内山での取材の中で一番多かった意見は「もっと時間をかけてゆっくり見学したい」というものでした。団体客のこの日のコースでは、伊万里市内で見学するのは大川内山のみで、しかも滞在は約1時間。確かにこれではあつというまに時間がきてしまいます。それでは、なぜ短時間しか時間をとらないのでしょうか。

これには、安くて、近くて、短期間で行ける『安・近・短』という最近の旅行形態や、交通網の発達によるマイカーでの旅行の増加も影響していると思われます。お金や時間をかけずに、近場のスポットを短時間で何か所も見て回る。



白壁土蔵造りの『海のシルクロード館』は、皆さんからの寄付金をもとに整備され、昨年の5月3日にオープンしました。

これをさきほどの疑問に当てはめた場合、伊万里を訪れることは旅行のあくまで一部分にしか過ぎず、それ自体を旅行の目的としていないからだと言いかえられます。つまり、伊万里はいわゆる『通過型観光地』にしかすぎないという現実がそこから見えてきます。

## 広く情報発信することの重要性

それでは、実際に旅行プランを作成する側の考えはどうなのでしょう。か。専門家である旅行代理店で話を聞いてみました。

そこでまず教えられたのが、観光地として人を呼ぶことの第一歩は『土地の知名度』であるということでした。例えば、わたしたちが旅行を計画する際、まず何をすればいいのでしょうか。パンフレットを見たり、マスメディアからの情報を聞き、どこに魅かれるかを考えるはずで。そう考えると、確かに観光地としては情報媒体にある程度の露出が必要だと言えます。

観光客に対して『行ってみたい』と思わせるような情報の発信。これが、伊万里の場合必ずしも十分とは言えず、そのことが『通過型観光』の要因の一つになっているように

に思われます。

ちなみに、伊万里市ではこうした現状をふまえ、昨年度から広域圏の自治体と連携して『モニターバスツアー』という取り組みをしているそうです。これは、都市圏の観光客にグルメをはじめとする観光資源に直接触れてもらい、その結果から観光客のニーズを把握して今後の事業に生かしているというものです。

## 独自の観光資源はまだまだある

さらに、旅行代理店ではこんな話も聞くことができました。

それは、団体旅行などのプランを組む際には、長距離の移動で退屈したり、逆に頻繁な乗り降り疲れしてしまうことがないよう配慮して行程を組んでいるということ。また、観光客の気持ちをつかむために、行き先や目的をバランスよく組み込むということ。そうした中で観光のキーワードである『五感』をいかにくすぐるかを考えるのだと言います。

そういう視点で見ると、伊万里だけではその範囲が狭すぎて、どうしても単独でプランを組むというのは難しいものがあります。他の観光地と比較した場合にも『温泉施設が少ない』『団体客を収容で

きる食事施設が少ない』『市街地に滞在しても観光するものが少ない』などの差があげられます。いわゆる、現在求められているような『温泉に入って、おいしい物を食べて、きれいな景色でもゆっくり見よう』という欲求は満たされないのであるかもしれません。

しかし『観光』というものは、独自色があればそれだけでも十分成立するものだと思います。他の観光地のマネをすることはいいのです。『人びとが旅行というものに何を求めるのか』を考えればよいのではないのでしょうか。

黒澤明記念館サテライトスタジオで、静岡県から訪れていた団体客に取材したところ、その道中に見た農家の家々の立派さにみな驚かされたと言います。住んでいるわたしたちからすれば何でもない普通のことが、観光客にとってはとても新鮮に思えたわけですね。

例えばこのように、既存の風景や街並みを利用し、観光資源とすることも十分可能だと思えます。実際、伊万里市でも歴史と自然の融合に視点を置き、現在さまざまな事業や計画が進められています。その代表例として、伊万里の歴史文化を伝える白壁土蔵の街並みを再生させようという運動から『海のシルクロード館』が現実化したことがあげられると思います。



### まちづくりのための六つの提案

- ① 中心商店街の空き店舗を利用し各種イベントを行ったり、伊万里焼やお土産のほかに軽食やお菓子類を販売するテイクアウト・イートインショップを作る
- ② 学校で『伊万里郷土史』を教えていく
- ③ ボランティアガイドを育成する
- ④ 駅をはじめ街中のいたるところに伊万里焼を展示する
- ⑤ 窯元や観光スポットのマップを無料配布する
- ⑥ 定期的な住民の話し合いの場を持つ



JTB九州メディア販売部  
企画仕入課

黒田 聡子さん

### また来てみたいと思わせることが重要です

観光地として『人をひきつける何かがある』ということは確かに重要です。しかし、景観を整備して観光地としてのハード的な要素をすべてそろえたからといって、それだけで人を呼ぶことができるというわけではないと思いますね。

確かに、しばらくはそれで集客率も上がるでしょうが、もし観光地として以前と何も変化がない、マンネリ化したような状態にあぐらをかいているようになった場合は人はすぐに離れていってしまうでしょう。

ただし、いい意味で以前と何も変わらない、そのまち独特の雰囲気を持ったようなところは、現在も人気の観光地ですね。そうした観光地に共通しているところは、観光客がまた来てみたいと思わせる何かを持っているし、何よりそこに住む人たちがそうした努力をしているんだと思います。

例えばあるまちでは、ボランティアガイドが観光バスに乗り込み、自分たちのまちのことを方言を交え案内しています。そうしたささいなことが印象に残り、また行ってみようかということにつながったりもします。伊万里も含め、どの観光地も今後どのようにしてリピーターを増やしていくかが重要なことだと思いますね。

### まちづくりの主演はだれなのか

伊万里を訪れた人が、短時間の滞在ではなく、もっとゆつくりまちを散策してみたいと思うような伊万里をめざしていく。そのためには、行政からの働きかけや政策だけでは不十分です。住んでいるわたしたち自身も、同じようにやる気と情熱を持たなければならぬと思います。たとえハード面を整備したとしても、アフターケアもなくソフト面ももたないような観光地には、きつとその後の発展は望めないでしょう。

伊万里はその昔、世界を相手に商売を行い、その活躍により伊万里という名は世界に知られたることになったという事実は、皆さん

も知っていることでしょうか。しかし、ただ知っているというだけでは

上に重視すべきだと思います。そして伊万里に誇りを持ち、そのことをまちづくりに生かして観光に発展させていく。そうすれば伊万里独自の風景や『古伊万里文化の香る街づくり』ができていくのではないのでしょうか。住民であるわたしたち自身が伊万里の魅力を発見し、それを生かしていかなければならないと思います。

### まちづくりのための六つの提案

そこで、今回の取材で得たさまざまな意見や感想をもとに、わたしなりの提案をいくつかしようと思います。(上表)

#### 1 現在各地で好評を得ている「ワザ学校」(それぞれの店が

自分たちの技術や知識を生かして、それを提供・指導すること)のようないイベントを企画してみるのはどうでしょうか。

例えば、衣料品店や靴屋が手入れの仕方を、薬局が薬の知識を、飲食店が料理の上手な作り方のコツを教える。商店街のいたるところでこのようなイベントを行うことで活気にあふれ、それが評判となり商店街の呼び物になるのではないのでしょうか。

#### 2 伊万里に住んでいることに誇

りを持ち、どこに行っても自信をもって伊万里をアピールできるようになるためには、やはり小さいころから郷土史を学ぶことが大切ではないでしょうか。





伊万里商工会議所TMO  
街づくり工房古伊万里委員会

金子 俊男さん

## 地元の人みんなで『手あか』 をつけていきましょう

伊万里は、長い歴史と伝統文化により培われてきた『焼き物』という、ほかのまちにはない貴重な財産を持っています。

ただ長い歴史といっても、三百数十年足らずの歴史だとも言えますし、そういう意味では本当に遠い昔というわけではないんですね。ですから、その歴史を学ぶことは今からでも十分間に合いますし、それをまちづくりに生かさないことはもったいないと思います。貴重な財産を持っているということは、それを中心にまちづくりを考えていけるわけですから結びつきやすい環境はそろっていると思います。

そして、それを地元の人たちが当事者意識を持って取り組むことが何より大事だと思います。何でもそうですが『だれかがやってくれるだろう』ではダメですね。降って沸いたように物事は起こらないということです。仲間としょっちゅう顔をつき合わせながら議論していく中で、一つひとつに『手あか』をつけていく。そうして手塩にかけてきたものに、自分の考えが少しでも反映されればとても愛着が沸くでしょうし、全体のやる気や充実感につながっていくものです。今後、そうしたグループが増えることに期待したいですね。

45 観光客の話の中に「伊万里といえば焼き物だから、まち中に伊万里焼があふれている」と思っていた」という声をよく聞きます。『秘窯の里』と呼ばれる大川内山の歴史的背景と、積み出し港として栄えた市街地との関係について知識がない場合には、ある意味もつともな意見だと思います。当然、情報を得なければパンフレットや情報誌などは以前からあります。しかし、実際にこの

3 地元の人が地元の言葉でその土地を案内するというもので。これは、何も伊万里のすべてについての知識が必要というわけではなく、得意分野のガイドだけでも十分可能だと思います。つまり、住民のだれもがガイドになるわけです。

6 まちづくりにおいて必要なことは、やはり『人』だと思います。伊万里市は住環境はたいへんすばらしく、観光資源もわたしたちが気づいていないだけでまだまだ豊富にあると思います。足りないのは、それらを上手に生かしているという、伊万里に活気を呼び戻そうという『意識』なのではないでしょうか。まちづくりとは、何も選ばれた

ような意見があるということはまだまだ改善点があるように思いますが、情報を提供しただけ、作っただけという姿勢ではだめです。さらに一歩進んで、例えば焼き物が出来上がるまでの工程を見学できる場所をつくったり、案内係を配置するなどの方策を考えてみてはどうでしょうか。

## みんなで『伊万里通』 になりましょう

わたしは、数年間伊万里を離れていた時期があり、それゆえに伊万里に対し一層愛着を持つようになりました。ずっと住んでいる人たちは、きつとそれ以上の愛着があるのではないのでしょうか。ご存じのように、観光やまちづくりというものはすぐには成り立ちません。長期的展望が必要で

特別な人たちがやるのではなく、市民みんなで手がけていくものだと思います。そして、定期的な住民の話し合いの場を持つことで、住民自身の意見・意思を明確化し、まちづくりの一員としての当事者意識を一人ひとりが持てるのではないかと思います。

わたしは、数年間伊万里を離れていた時期があり、それゆえに伊万里に対し一層愛着を持つようになりました。ずっと住んでいる人たちは、きつとそれ以上の愛着があるのではないのでしょうか。ご存じのように、観光やまちづくりというものはすぐには成り立ちません。長期的展望が必要で

し、とても根気のいることでもあります。だからこそ、わたしたちが今やるべきことは『意識改革』なのです。伊万里の伝統文化や歴史を幼いころから学び、伊万里の強みを確信し、伊万里に誇りを持つ『伊万里っ子』を育成する。そして、伊万里に住んでいるわたしたち自らが、だれにも負けない『伊万里通』となっていくことが大事なのではないのでしょうか。くり返すようですが、まちづくりは一人ではもちろん、少数の人たちの力だけではとてもできません。市民みんなの力が必要なのです。ですから、まちづくりを実際に行うのはわたしたち自身であることを、今こそ一人ひとりが自覚すべきです。そうすれば、みんなが伊万里を愛する『伊万里通』になっ



# さわやか伊万里

## タウンミーティング

### 第2回

市民の皆さんと市長自身が直接対話し、皆さんの生の声を市政に反映させるとともに、市政の現状やこれからの方向などをわかりやすく説明する対話集会『さわやか伊万里タウンミーティング』。その第2回目が、1月24日、南波多公民館で開かれました。ここではその内容をお知らせします。（内容の一部を抜粋して掲載しています）



### 伊万里ブランド製品の育成について

**Q** 学校給食では地元産品を使用してもらいたい。『伊万里を食する日』を設定して、きゅうり、なしなど伊万里の特産品を食べてもらい、子どもにも伊万里の食材のすばらしさを学習してもらいたい。

**A** 〔市長〕 地産地消が大切だと思います。これはどこの野菜、果物であるか、これがどんな

経路で自分たちの口に入るのかを学習することは必要なことです。そのような中から、子どもたちが地元産品のよさを知り、農業のすばらしさを理解し、農業をやってみたいという気持ちを育てていければと思います。

**Q** 自分は梨の栽培をしているが伸び悩んでいる。いい宣伝の方法はないかと思っているところだが、市役所の人が出張に出られる時は、カバンではなく、梨箱を持って行ってほしい。

**A** 〔市長〕 宣伝は大切です。わたしの名刺もPR用を使っています。市長のトップセールスは大事ですね。パッケージを考え、梨のカバンも作らなければいけないかなと思います。職員にも二人でも多くの人に伊万里を知ってもらおう。ために宣伝の意識を植え付けていきたいと思います。

**Q** 南波多のふるさと村についてお尋ねします。わたしたちも精いっぱい努力して集客はあるのですが経営的には厳しい状況です。これに対して、職員時代に担当として計画に携わった市長の考えは。

**A** 〔市長〕 ふるさと村は都市と農村の交流事業として、全国の中からモデル事業として採択されたものです。これだけの集客を誇る施設に育ててきた組合員の皆さんの努力に敬意を払いたいです。伊万里の言わば入り口に、こういうすばらしい農産物の直売所があるということは、伊万里市のPRにたいへん活躍してもらっています。ただ、経営の面で厳しいということはわたしも頭を悩ませているところです。観光など、いろいろな面から支援策を考えていかなければいけないと思っています。

### 生活環境の向上について

**Q** 南波多では現在、たい肥センターの建設が大きなテーマになっている。総論賛成、各論反対というのが、おおかたの意見である。たい肥は農業と直接関係している。行政のほうで指導してもらえないか。

**A** 〔市長〕 南波多は畜産農家も多いため、たい肥を必要とする果樹農家もあり、たい肥の需要とふん尿処理という循環型の理想的な仕組みがたい肥センターを中心に掲げる地域ではないかと思っています。環境をよくするためにも、農業の振興のためにも、たい肥センターの建設については協力させていただきたいと思っています。

**Q** リサイクルセンターがあるが、布の回収はされているか。





**テーマ** ◆伊万里ブランド製品の育成について  
◆生活環境の向上について

ない。フリーマーケットを伊万里市で定期的に行ってもらえたらと思っている。それと不法投棄の常習的な場所があるようだが、その実態は。

**A** 【市長】フリーマーケットでのリサイクルはいいことだと思います。年1回のリサイクルフェアの人気も高いですね。

【市民部長】布製品も平成13年までは回収していましたが、最近はその状況が芳しくなく回収できていないのが現状です。毎年開催しているリサイクルフェアは多くの人に好評を得ていて、そこでの売り上げが参加団体の活動資金になり効果を発揮しているところです。今後は、各地区でのフリーマーケットなどの開催をそれぞれの団体に呼びかけて、リサイクルの輪を広げていきたいと思います。また一方

では『使えるものは有効に使おう』という意識を高めていく必要があると思います。

不法投棄の場所については、市内で67か所把握しているところで、市では不法投棄監視パトロールを強化しているところであり、大規模な場所は撤去しています。

**Q** ゴミ袋になぜ名前を書かないといけないのか。人に知られたくないゴミもある。そのへんが不法投棄につながっていると思うがどうか。

**A** 【市民部長】市の条例で、市民の責務、事業者の責務、行政の責務を定めているところで、いろいろな意見はあると思いますが、分別の徹底、ゴミ減量の実現のためにゴミ袋には名前を書いてもらっています。

**Q** 税金で粗大ゴミの不法投棄物を撤去するのと、集めて回収するのとどちらが安いか。

**A** 【市民部長】不法投棄物は、原則として土地の所有者の

自己責任において処理してもらっています。しかし、それが大規模で個人の処理では限界があるものについては市が協力して撤去しているところです。

**Q** 悪循環ではないか。以前のように、町内1、2か所に集めて市が回収したらどうか。

**A** 【市民部長】不法投棄については環境面からも憂慮しています。そこで不法投棄しないように呼びかけて意識を高めていくとともに、粗大ゴミについては皆さんの利便性などを考慮して、現在月1回、市内290か所に集積所を設けて回収しています。

**Q** 不法投棄防止のために、以前のように大掃除の時に、

回収することは考えられないか

**A** 【市長】以前のように回収しただらということですが、検討に値すると思いますので、幅広く検討していきたいと思っています。

**Q** 環境についてですが、大野岳をみんなが行けるような公園にしてほしいと思う。市内には国営の農地があるから、これら大野岳と結んでフラワートピアを作るとい話を以前聞いたことがある。またふるさと村から大野岳までケーブルカーを整備する話も聞いたことがある。ほかと違う何かをしていかなければ、まちは活気づかないと思うがどうか。

**A** 【建設部長】すばらしい意見で敬服しました。公園は各地で整備していますが、地域の人にかわいがってもらわないといけないと思います。行政を引っ張ってもらうことも大事ですね。

**Q** 南波多には、以前から全村公園化構想がありました。まちのいろいろな観光資源を結び、点と点からひとつの線にすると観光客も流れていくと思います。何もお金をかけなくても交流型の農業ができると思います。地域資源をいかに活用していくかということを考えていく必要がありますね。



※「第3回さわやか伊万里タウンミーティング」は3月28日(金)午後6時半～波多津公民館で開催します。テーマは①魅力のある地域づくりについて②高齢者福祉についてです。ご参加お待ちしております。



# バランスシート しているの？

(平成14年3月31日現在)

(単位：千円)

貸	方
<b>【負債の部】</b>	
<b>1. 固定負債</b>	
(1) 地方債	17,363,851
(2) 債務負担行為	
① 物件の購入等	330,023
② 保証債務又は損失補償	0
債務負担行為計	333,023
(3) 退職給与引当金	4,668,194
<b>固定負債合計</b>	<b>22,362,068</b>
<b>2. 流動負債</b>	
(1) 翌年度償還予定額	1,764,542
(2) 翌年度繰上充用金	0
<b>流動負債合計</b>	<b>1,764,542</b>
<b>負債合計</b>	<b>24,126,610</b>
<b>【正味資産の部】</b>	
1. 国庫支出金	10,462,380
2. 都道府県支出金	6,818,895
3. その他（一般財源等）	29,157,134
<b>正味資産合計</b>	<b>46,438,409</b>
<b>負債・正味資産合計</b>	<b>70,565,019</b>

330,023 千円  
3,014,729 千円  
64,505 千円

平成13年度末（平成14年3月31日現在）の伊万里市の<sup>※注1</sup>バランスシートを公表します。これは、これまで行ってきた財政公表に加え、新たに企業会計的手法を取り入れ、市の財政状況をよりの確につかみ、健全な財政運営を行うためです。歳入や歳出の単年度の情報を中心とした現行の財政状況に加え、資産や負債といった累積された情報を把握することができず。ここでは、そのバランスシートの内容を見ながら、市の財政状況をよりわかりやすく説明していきたいと思えます。

## 作成にあたっての基準は？

作成にあたっては、総務省（当時自治省）の『地方公共団体の総合的な財政分析に関する調査研究会報告書』（平成12年3月公表）で示された作成マニュアルに基づき、次の基準により作成しました。

■対象となる会計の範囲は  
普通会計（一般会計に次の特別会計を加えたもの）を対象としました

※一般会計に加えたものは、同和地区住宅新築資金等貸付特別会計、市営駐車場特別会計、老人保健特別会計の一部、北部第一土地区画整理事業特別会計の一部、伊万里駅周辺土地区画整理事業特別会計です

■作成基準日は  
平成13年度末（平成14年3月31日）現在です。3月31日を基準日とし、4月1日から5月末日まで（出納整理期間）の入出金を取り込みました

■基礎となる数値は  
昭和44年度以降の総務省（旧自治省）基準に基づく各年度の『地方財政状況調査表』（いわゆる決算統計）のデータを基礎数値として用いました。従って、昭和43年以前に形成された資産は含まれていません。また有形固定資産の減価償却は、行政目的別のおもな用途別に設定した耐用年数に基づき、残存価格を『0』とする定額法により計算しています

※注1 バランスシートは、特定の時点（年度末）の財政状況を、借方（左側）に『資金の用途の内容』を表し、貸方（右側）に『資金の調達の内容』を表した対照表です。〈資産〉＝〈負債〉＋〈正味資産〉





# 伊万里市のバ はどつなっ

## バランスシート

借	方
<b>【資産の部】</b>	
1.有形固定資産	
(1)総務費	4,283,956
(2)民生費	1,075,026
(3)衛生費	1,612,475
(4)労働費	0
(5)農林水産業費	7,132,167
(6)商工費	779,551
(7)土木費	23,309,554
(8)消防費	564,133
(9)教育費	22,084,099
(10)その他	221,715
計	61,062,676
(うち土地)	16,892,857
(うち無体財産権)	105,000
<b>有形固定資産合計</b>	<b>61,062,676</b>
2.投資等	
(1)投資及び出資金	3,014,637
(2)貸付金	338,375
(3)基金	
①特定目的基金	1,289,877
②土地開発基金	608,000
③定額運用基金	44,495
基金計	1,942,372
<b>投資等合計</b>	<b>5,295,384</b>
3.流動資産	
(1)現金・預金	
①財政調整基金	665,422
②減債基金	608,223
③歳計現金	979,828
現金・預金計	2,253,473
(2)未収金	
①地方税	586,025
②その他	1,367,461
未収金計	1,953,486
<b>流動資産合計</b>	<b>4,206,959</b>
<b>資産合計</b>	<b>70,565,019</b>

※債務負担行為に係る補償等

- ①物件の購入等に係るもの
- ②債務保証及び損失補償に係るもの
- ③利子補給等に係るもの

### バランスシートの分析は？

■資産と負債・正味資産の状況は

平成13年度末現在の伊万里市の資産総額は、705億6502万円（千円未満四捨五入）です。その大半は、道路や河川、教育施設などの有形固定資産となっています。一方資産形成に要した資金の割合は、負債が34・1割、正味資産が65・

9割となっています。資産総額の内訳は、『有形固定資産』が610億6268万円（構成比86・5割）、『投資等』が52億9538万円（構成比7・5割）、『流動資産』が42億696万円（構成比6・0割）となっています。一方資産形成に要した資金の内訳は、負債が241億2661万円、正味資産が464億3841万円となっています。

■有形固定資産の内訳は

平成13年度末現在の有形固

定資産は、610億6268万円です。その内訳は、市民生活に関連した道路や河川などの土木費が233億955万円、次に学校教育や社会教育、保健体育などの教育費が220億8410万円、農業や漁業などの振興に関連した農林水産業費が71億3217万円となっています。

■市民一人当たりのバランスシートは

平成13年度末現在の市民一人当たりの資産は、118

### 今後の課題は？

万円、負債は40万円、正味資産は78万円となっています。

今後は、ほかの自治体との比較、分析を行い、本市の財政水準を把握・評価する必要があります。またバランスシートの各数値により、財政分析以外の分析や、この考え方を発展させ、バランスシート以外の財務諸表についても調査・研究を進める必要があります。

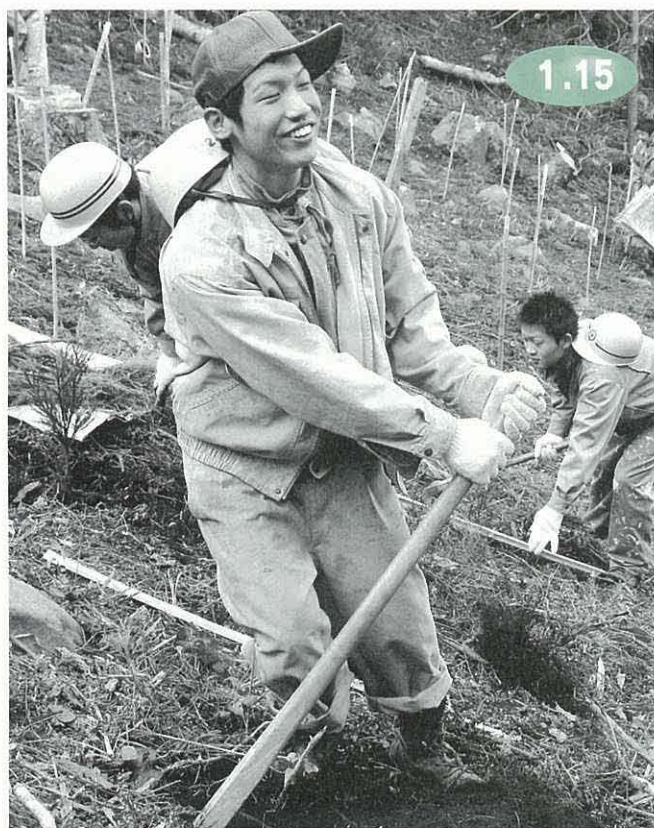
※注2 市民一人当たりの数字は平成14年3月31日現在の人口 59,819人で除して得た数値です



# みんなの

# 広場

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所広報係へご連絡下さい。  
☎23-2111 (内線207)



## 演習林の木々のようにたくましく

伊万里農林高校の『離山式』が、腰岳中腹にある同校演習林でありました。これは40年ほど前から続く恒例行事で、森林工学科3年生37人が3年間学んだ山に別れを告げました。当日は、演習林約20㍓にスギの苗木500本とクヌギの苗木200本を植樹。式では生徒代表の副島龍吾くんが「この山でたくましく生きることを学んだ。どんなにつらくとも、一人ひとり自分で選んだ道を突き進みます」と決意を述べていました。



## するどい質問に執行部もタジタジ？

『伊万里子ども市議会』が市議会の本会議場で開かれました。当日は、市内の小学校全16校から6年生32人が『議員』として参加。環境や福祉、まちづくりなど自分たちの身近な問題について、市長をはじめ執行部に対しするどく質問していました。



## うまく風をつかまえられたかな？

今年で2回目となる『西九州凧あげ大会』が黒川町のイマリビーチでありました。当日は時折雨が降るあいにくのコンディションでしたが、手作り凧を何とか大空高く上げようと、子どもたちはいっしょうけんめい砂浜を駆け回っていました。

## 女性、男性の垣根を越えて

男女共同参画都市宣言2周年を記念する『女と男きらめきフォーラム』が市民センターでありました。当日は弁護士の渥美雅子さんの講演のほか、いまりプラザの寸劇や伊万里YOSAKOI隊の踊りも加わり、男女協働参画社会実現をアピールしていました。





1.26



### 橋開通を前に伊万里湾をひとまたぎ

山代西小学校の6年生16人と保護者ら約50人が、開通を前に伊万里湾大橋を渡りました。卒業記念に大橋を歩いてみたいという子どもたちの要望に、国がこたえたものです。大橋は全長651㍍、海面からの高さ20㍍。「わー高い」と口々に歓声が上がっていました。

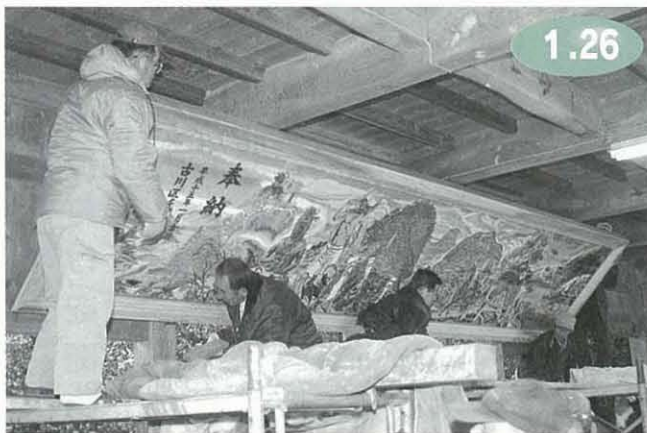
### みんなに親しまれる憩いの場に

都川内ダム（大坪町古賀）の竣工を記念し、同ダムで記念植樹が行われました。これは、地元の5地区が行ったもので、この日植えられたのは『山もみじ』と『ソメイヨシノ』の合計120本。これから、季節の折々に訪れた人たちの目を楽しませることでしょう。



1.19

1.26



### ふるさとの歴史を伝える絵馬奉納

南波多町古川区の皆さんが、地元につながる戦国時代の集落発祥の物語を題材にした絵馬を制作し、地区内の山祇神社に奉納しました。縦1㍍、横5.4㍍の大きさで、中国六国の領主大内義隆や、その3男で当地を開いたという義信らの姿が時代絵巻風に描かれています。

### よみかたりは幸せの時間づくり

『よみかたり風21』が主催する『よみかたり勉強会』が市民図書館でありました。講演した富原美智子さんは「人間の持っている声の心地よさを子どもの心に届ける。これがよみかたりのすばらしさです」と実際に絵本を読みながら語りかけていました。



2.2



春田ツヤさん

田中ユキノさん

お二人とも和裁が趣味で、食事は好き嫌いなく何でも食べるそうです。手先の器用さや規則正しい生活に、長寿の秘密があるのかもしれないね。

春田ツヤさん（黒川町椿原）が2月10日に、田中ユキノさん（二里町川東）が2月15日にめでたく百歳の誕生日を迎えられ、お二人に塚部市長から百寿記念メダルが贈られました。

ツヤさんは、今でも針仕事をして自分の服を仕立てたりするほどとてもお元気。また、ユキノさんはケガのため多少足が不自由ですが、こちらも病気が知らずですこぶる元気。市長のお祝いの言葉にも元気な声で答えていました。

お二人ともいつまでもお元気で、これからも長生きしてくださいね。

### いつまでもお元気で！ 春田ツヤさんと 田中ユキノさんに 百寿記念メダル





## お知らせ

### 固定資産縦覧帳簿を縦覧できます

平成15年度の固定資産縦覧帳簿の縦覧を次のとおり行います。なお、固定資産課税台帳の閲覧もあわせて行います。

- 期間 4月1日(火)～7月31日(木)
- ※土・日・祝日を除く
- 時間 午前8時半～午後5時15分
- 会場・問合せ 市税務課  
(☎2111内線259)

### 子育て支援センターに遊びに来ませんか

子育て支援センター「ぼっぼ」は、子育てに関する悩み

や不安を相談したり、親子で仲間作りができる場です。お気軽にご利用ください。

#### ①わくわく広場

- 対象 就園前の乳幼児とその保護者
- ▼ 午前10時～午後2時
- ▼ ひまわりコース(金曜日)
- ▼ 3月7日、14日
- ▼ ちゅうりつぷコース(月曜日)
- ▼ 3月10日、17日

#### ②わくわくベビー

- 対象 0～1歳3か月までの乳児とその保護者
- ▼ 日時 3月12日、19日
- ▼ 午前10時～午後2時

#### ③ぼっぼママのつどい

- 対象 子育て中のお母さん
- ▼ 日時 3月5日、20日
- ▼ 午前10時～11時半

#### ④つくしんぼランド

- 対象 事前に申し込みが必要で、就園前の乳幼児とその保護者
- ▼ 日時 3月18日(火)
- ▼ 午前10時～11時半

※事前に申し込みが必要で、その保護者

- 会場 ①～③子育て支援センター ④市民図書館
- 申込・問合せ 子育て支援センター

(☎25197)

### 夏のレジャー予約の受け付けを開始

#### ● 利用期間

- ▼ イマリビーチ(休憩所) 7月1日～8月31日
- ▼ 大川内山キャンプ場(テントプレース、研修室、休憩所など) 7月15日～9月5日

#### ● 受付開始 4月1日(火)～

- ※午前8時半～午後5時15分(土・日・祝日は除く)
- 申込・問合せ 市商工観光課(☎2111内線3885)

### 福岡行き高速バスの経路が変わります

現在、昭和自動車(株)と西鉄高速バス(株)が運行している伊万里～若木(武雄市)～多久市～博多(福岡市)経路の高速バスが、4月1日から唐津

經由に変更になります。これは、西九州自動車道と福岡都市高速道路の連結により、唐津市～福岡市の所要時間が短縮されたことによるものです。

経路の変更により福岡への移動時間が短縮され、料金も安くなる予定ですので、より利用しやすくなります。

- 問合せ 伊万里昭和交通(株) (☎4184)

## 入学・就職のシーズンになりました 異動手続きはお早めに!

市内からほかの市町村に転出するときは、市で発行する転出証明書が必要です。また、市内に転入するときには、前の住所地の市町村で発行する転出証明書が必要です。

この時期、交付申請が特に多い「住民票の写し」「戸籍の謄・抄本」「印鑑登録証明書」「印鑑登録」は、次の要領で申請をしてください。

- ▼ 住民票の写し 原則として、本人が同一世帯の人が申請できます
- ▼ 戸籍の謄・抄本 原則として、本人またはその直系親族(配偶者や親子など)が申請できます
- ▼ 印鑑登録証明書

本人または代理人が申請できます。必ず「印鑑登録証」をご持参ください

▼ 印鑑登録 本人または代理人が手続きできます。手続きをする時は本人であることを確認するため、官公署が発行した運転免許証や外国人登録原票記載事項証明書、パスポートなど、写真付きで割り印された証明書をご持参ください。即日交付できます

※ただし、本人の確認ができない場合や代理人が手続きする場合は、本人の登録意思を確認するための照会書を郵送しますので、交付には2、3日かかります

### 3月末と4月初めの土・日を開庁します

転入・転出・転居の届出などの市民課窓口業務を次のとおり行います。

- ◆ 開庁時期(4日間) 3月29日(土)、30日(日)、4月5日(土)、6日(日) いずれも午後1時～5時まで

◆ 取扱業務 届出業務や証明発行業務など、市民課と税務課の業務を取り扱います(本庁のみ)

※届け出の内容によっては、他の事業所や官庁などが休みのため問い合わせができず、対応できない場合もありますのでご了承ください

- ◆ 問合せ 市民課窓口係 (☎2111内線289)

※2月15日発行の市役所だよりでお知らせした「伊万里湾大橋開通記念 橋上大綱引き大会」は諸般の事情により中止となりました。



# 3月の行事

市民センター ☎ 23911

30日(土) 伊万里嘯風会大会  
9時 無料

市民会館 ☎ 27105

15日(土) 伊万里高校吹奏楽部  
定期演奏会  
13時半開演 無料

市民図書館 ☎ 234646

9日(日) 一映「暗黒街の顔役」  
13時半 無料  
30日(日) 子映「紅の豚」  
14時半 無料

### ◆特別企画

20日(木) むかーし昔は愛ことば  
小澤俊夫さん  
(筑波大学名誉教授) 講演会  
18時半開演

※毎週土曜日 お話し会 14時半～  
※都合により上映時間を変更することがあります

# 市民相談

会場：市民相談コーナー  
時間：10時～15時 無料・秘密厳守  
法律相談：8時半受付 先着10人まで

- 法律 (木) 6.20
- 交通事故 (火) 11
- 行政 (水) 19
- 人権 (火) 4.18
- 身障者 (月) 24
- 消費生活 (月) 3.10.17.24.31
- 女性就業 (水) 5.12.19.26
- 社会保険 (金) 7.14.28

(会場：第1面接室)

- ボランティア相談…毎週月曜日  
10時～15時 会場 市民ロビー
- 緊急巡回労働相談…毎月第3火曜日  
10時～16時 会場 市民ロビー

「困ったな」「おかしいな」と  
思った時は、お気軽に市民相談  
コーナーへご連絡ください。

☎ 232111 (内線226)

## おもちゃ図書館の もちつき大会

- 日時 3月21日(金)  
午前11時
- 会場 伊万里公民館広場
- 参加料 無料
- ※もちつき体験大歓迎。ぜんざいもあります
- 問合先  
岡本(☎235823)

## 伊万里「環の里」 菜の花まつり

- 日時 3月22日(土)  
午前10時半
- 会場 大坪町古賀グラウンド
- 主要内容  
▽啓成中学校プラスバンドや  
よさこい踊りなどによるオ

## ーピングセレモニー

- ▽有機農産物の販売
- ▽生ごみたい肥化パネル展
- ▽バイオディーゼル燃料車の  
試乗会
- ▽菜の花ごはん豚汁の無料  
提供 など
- 問合先 伊万里環の里計画  
実行委員会(☎24058)

## ぼしゅう

## 市民図書館の 嘱託司書職員募集

- 応募資格 司書資格を有す  
る人、または平成15年3月  
中に資格取得見込みの人
- 募集人員 1人
- 勤務時間  
午前9時15分～午後6時

## 参加しませんか 粘土教室と料理教室

- 開催日(4月)
- ▽料理教室 毎月第1水曜日
- ▽粘土教室 毎月第2金曜日
- 時間 午前9時半～正午
- 会場 市同和教育集会所  
(立花台二丁目)
- 受講料 無料
- ※材料費が別途必要です
- 受講資格 市内在住の女性
- 申込期限 3月26日(水)
- 申込・問合先 市同和教育  
集会所(☎27462)

## さわやかスポレク祭 参加者を大募集!

市は、「いつでも、どこでも、だれでも」を合言葉に、生涯スポーツの推進を図るため「伊万里市さわやかスポーツ・レクリエーション祭」を開催します。皆さんも心地よい汗を流してみませんか。

- 日時 3月21日(金)  
午前9時
- 実施種目  
①グラウンドゴルフ  
②ペタンク  
③インディアカ  
④ソフトバレーボール  
⑤ミニサッカー
- 会場 国見台運動公園ほか
- 申込期限 3月14日(金)

- 申込・問合先  
市教育委員会体育保健課  
(☎232111内線465)  
または各町公民館まで

## 第5回伊万里・黒澤 映画祭スタッフ募集

夢をかたちにノ特典満載!!  
あなたも、みんな楽しんで映画祭に参加しませんか。

- 申込方法  
電話、FAXまたはEメールで、住所、氏名、年齢、電話番号をご連絡ください
- 申込期限 3月31日(月)
- 申込・問合先 市男女協働国際交流課(☎232111内線485、☎27213) Eメールアドレス danjo-kokusai@city.imari.saga.jp





ふるさと 故郷・伊万里から遠く離れて仕事などに頑張っている伊万里出身者がいらっしやいます。また「伊万里」という語感が好きで、これを店名にされているお店なども数多くあります。このコーナーでは「伊万里」と縁が深いみなさんのお便りをご紹介します。

## 『のぼせもん』

ふるさと伊万里応援団（埼玉県志木市）

梅崎 哲雄 さん

『こののぼせもんが！』  
トントントンの下敷きになつて、救急車で家に送り届けられたときの、今は亡き母の怒声である。  
驚愕と、心配と、怒りとが入り混じった母のあの顔が忘れられない。  
無理もない。当時学生であつた私はトントントンを担ぐために、わざわざ学校を休んで夜に帰省し、翌朝、法被姿で家を出てから数時間後にはもう担架に載せられて帰ってきたのだから。  
社会人となつて上京してから、もう担ぐこともないし、見ることも殆どなくなつたトントントン。  
それでも、おくんちの頃になればひよつとしてニュースに出ないかと、テレビにかじりつく私。だが報道されることはまず無い。  
メインイベントである川落しが終り、夜の冷気も加わつて晩秋の寂寥を感じながら家路についた子どもの頃が想いだされ、郷愁が胸



れが食べられるかどうかだけは知っている、というのが我慢。  
三方は山に囲まれていても、北は海に開かれている伊万里。  
海に向こうは、七つの海に繋がっていると、海外への夢を馳せた子どもの頃。  
幸い、商社に職を得て、百を超える海外の都市を訪れる機会に恵まれたが、山

いっばいにひろがってくる。子どもの頃、そう、あの頃はよかつた。  
物質的には決して豊かでは無かつたけれど、いじめ、受験戦争、塾もない、山野を駆け巡るのびのびとした精神的に豊かな時代だつた。  
そのお陰か、山野の草花の名前は知らなくても、そ

紫水明さにおいて伊万里に勝る都市は無い。その精緻な磁器においておや。  
図らずも伊万里大使を拝命した。身に余る光栄である。  
大使の役割はわが故郷伊万里を喧伝し、企業誘致を実現させること。  
伊万里を喧伝することであれば、仕事上の付き合い先、友人同僚、ひいてはクラブのホステスにと、人後に落ちぬ自信はあるが、日本経済の低迷下では企業誘致の実現は容易なことではない。

であれば、厳しい企業誘致だけでなく、自分が携わっているIT関連事業を通して、地元企業の発展拡大を図り、新しい企業（ベンチャー）の誕生に寄与し、もつて大使の職責の一端でも果たすことが出来ぬものかと、今年は張り切ろうと思つている。  
こんな私に、泉下の母は今度は苦笑いしているのだろうか『こののぼせもんが』と。

春、3月。卒業式のシーズンを迎えました。卒業後は進学、就職のために伊万里を離れる人たちも多いことでしょう。今月の特集の中で川久保さんも言っていました。そんなふるさとを離れる人々には、新天地で伊万里をどんどんピアーしてほしいと思います。ちなみに、いよいよ今月9日に開通する伊万里湾大橋は、九州地区最大のアーチ橋です。ぜひ憶えておいて、ふるさと自慢のネタの一つにしてください。  
そして伊万里を離れる前には、この伊万里湾大橋をぜひ渡つてほしいと思います。きつと、人生の新しい旅立ちの記念になるのではないのでしょうか。（H）



### 人のうごき

平成15年2月1日現在  
●人口 59,801人 (ー 24)  
男 28,531人 (ー 8)  
女 31,270人 (ー 16)  
●世帯 20,506世帯 (+ 2)  
( ) は前月比

### 広報 伊万里 2003-3

■発行日/平成15年3月1日  
■発行編集/伊万里市役所秘書課広報係 (0955)23-2111  
〒848-8501 佐賀県伊万里市立花台1-1-1  
■伊万里市のホームページ  
<http://www.city.imari.saga.jp/>  
■印刷/株式会社三光

編集室から